

子どもたちを健やかに育むために 部会（ぼかぼか子育てルーム）

平成23年度 活動報告

○7月25日（日）午後1時30分～ アオッサ608研修室

和田周平先生に「子どもの心の原風景」と題して講演をお願いしました。非行を起こす子どもの育ちを脳から考えると、幼児期から積み上がっていて、急に非行にはしるものではないということ。また、家庭での「笑顔」「ありがとう」のことばが、いかに大切であるかということをお話しいただきました。

○8月25日（木）午後7時30分～ アオッサ604研修室

小野明治先生に「自律心を育てる家庭教育」と題して講演をお願いしました。元気のいい話し方で心を病んでいるのは若者と子どもたちだけでなく、大人も多く、凶悪事件や自殺や暴力などが増えていること。また、親が理性でものを見ていないこと。親が親になれていなくて、友達化していて存在感が無くなっていること。父には父の、母には母の「無言の教え」があり、家庭教育には卒業はなく、生涯の教育であると言われたことが心に残りました。「三つ子の魂、百までも」は昔から言われることであり、あいさつ、返事など基本的なことのしつけが今はおろそかになっているなどをお話しいただきました。



○9月22日（木）午後7時30分～ アオッサ604研修室

小林嘉代子先生に「思春期の子ども」と題して講演をお願いしました。ていねいな話し方で、思春期の子どもの特徴や、親の役割として中学生の心を開くためにも家を家族がくつろげる場所にし、いい親子関係が作れる言葉かけをして、心の土台作りをしっかりとすることが大切だとおっしゃいました。また、親は親として家庭のルールは守らせ、自分で正しい判断ができる子にし、他人と自分を大切にすることを育てることが大切だと言われました。成績の善し悪しでその子を決めつけないで、子どもの自主性や成長力を伸ばしてやる必要があると、心の底から安らげる楽しい雰囲気のある家庭の人間関係が大切だと言われました。

以上3回の募集を福井新聞のプリンにも載せました。それを見て来られた方もありましたが、いつも10人程度のいい雰囲気の中での話し合いもできました。今回は、曜日や時間を変えてやってみました。

○10月8日（土） 三心えんざん保育園

和田先生に「脳を知って子どもの成長を考える」と、題して講演をお願いしました。保護者など30人ほどの参加がありました。



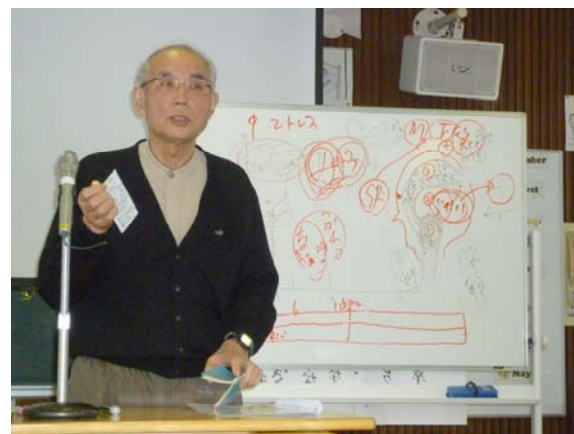
今後の活動について

幼稚園・保育園では、年に何回か講演会が開催されており、2月4日（土）午前10時から、三心えんざん保育園での第2回「三心子育て・親育ち講座」において、『カウンセラーの熊谷香菜恵先生の「子どもとの関わり方について」』という題で講演をお願いしました。保護者や保育士の方など30名ほどの参加者がありました。エゴグラムを通して新たな自分を発見し、自分の特性を生かした楽しい子育ての方法を聞いてもらいました。（問題をかかえていれば、先生の連絡先も教えていただきました）



また、各小学校においても、PTAが年に1、2回講演会を主催するようで、2月10日（金）午後2時30分から、湊小学校において『親の願い・我が子に幸せになって欲しいから』と題して和田周平先生に講演をお願いしました。

私たちがアオッサで行った講演会に参加された方の紹介もあり、保護者や先生方など40名ほどの参加者がありました。参加された方からは「良かった、今からでも直せるかな・・・」などの声を聞きました。中には、高校生の子どもに「あんたなんてあかんわ。死んでまいねの」と言ったことがある方もおり、「もう遅いの。もっと早く聞いたら良かったのに・・・」と言っておられました。しかし、先生は「今からだって大丈夫、ちゃんとやれる」と優しくおっしゃっていました。



私たちは、一人で悩まずに誰かと繋がることによって、解決までいかななくても少しでもお手伝いができればいいと思って活動しています。

しかし、普通の生活をし、普通だと思っていたお母さんから「死んでしまえ」の言葉を聞くとは思いませんでした。きっと自分で気づかないうちに子育てを間違えていることもあるのだと、気づかされました。

言葉かけの一つ一つからも、子ども達は大きく変わっていくことを、もっともっと保護者にわかってもらいたいと思いました。そのため、私たちの活動に賛同してくださる各分野の専門家の先生方が増えてくださるようご協力をお願いしています。そして、関わる私たちも勉強していかなければいけないので、各勉強会で自分自身を磨くことにも力を入れてがんばっています。

今後、私たちの活動に関わってくれる仲間も増える事を願って声かけをしていきたいと思えます。